【(国土交通大臣表彰) 国土技術開発賞　優秀賞】
1.「地下水対応型継手を用いた外殻先行型トンネル構築工法」
【(公社) 土木学会　技術賞 (Ⅰグループ)】
2.「角型エレメント推進工法による鉄道駅部大断面トンネルの構築
(相鉄・東急直通線、綱島トンネル)」

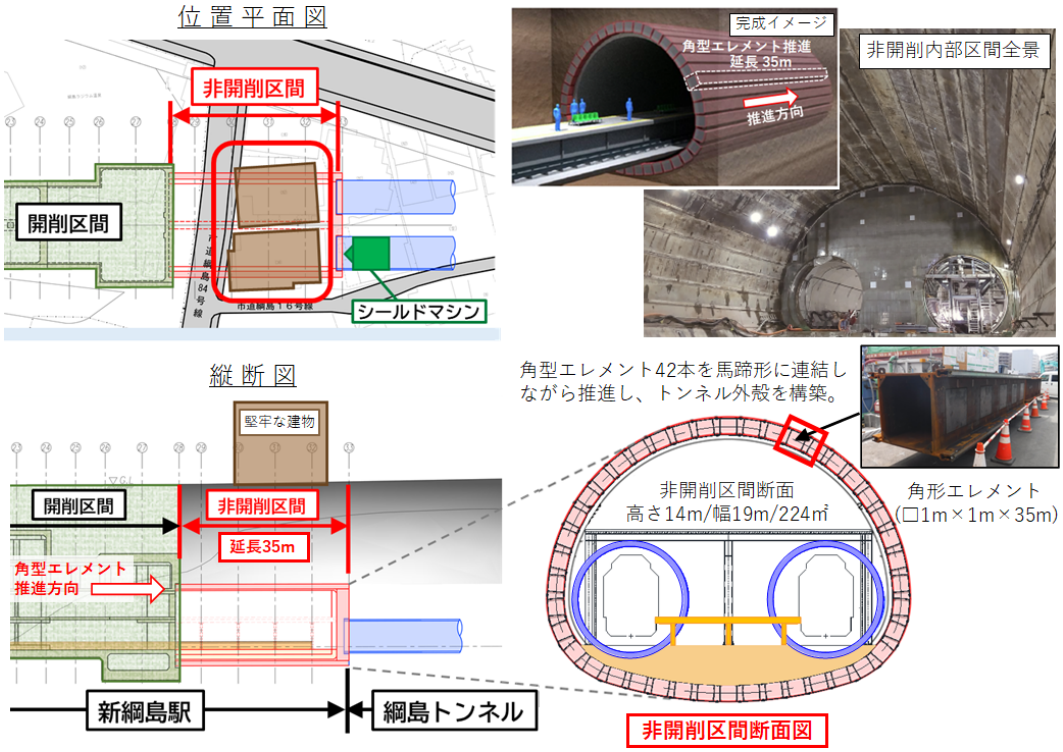
「地下水対応型継手を用いた外殻先行型トンネル構築工法」が、(一社) 国土技術研究センター、(一財) 沿岸技術研究センターより、国土技術開発賞の優秀賞を受賞しました。(※1)

また、「角型エレメント推進工法による鉄道駅部大断面トンネルの構築 (相鉄・東急直通線、綱島トンネル)」が、(公社) 土木学会の技術賞 (Ⅰグループ) (※2) を受賞しました。

両賞ともに相鉄・東急直通線、綱島トンネル工事のトンネル構築工法について評価されています。

本工事は、新綱島駅 (全長約 240m、深さ約 35m、幅員約14~25m) のうち、地上部に建物が密集しており開削工法が適用できない区間において、非開削工法により内空 224 ㎡の大断面トンネルを構築する必要がありました。そこで、トンネル外殻部を先行して構築する既存の角型鋼管推進工法を大幅に改良した角型エレメント推進工法で大断面トンネルを構築しました。

角型エレメント推進工法の適用により、任意な形状の躯体構築及び堅い地盤内での長距離推進 (35m程度) が可能であること、到達立坑を設置せず推進機を発進立坑側から回収する方法などが確認されています。今後、同様な条件における非開削工法の適用が大いに期待できるものであり、都市部の地下空間を中心とした国土のさらなる有効利用の促進に寄与することから、施工者である戸田建設 (株) と連名で受賞に至りました。



※1　技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設産業に係わる優れた新技術に対して贈られる賞。国土交通大臣表彰で JRTT として初めて受賞。

※2　土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められるインフラの計画、設計、施工、または運用やメンテナンス等の画期的な個別技術に贈られる賞。

(参考) 令和 4 年度土木学会技術賞 紹介ページ
(https://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/2_gijutu.shtml#s2022)